



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 ゼット株式会社
 コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括本部長
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

(氏名) 渡辺 裕之
 (氏名) 田中 洋司 TEL 06-6779-1171
 配当支払開始予定日2026年6月26日

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	58,655	6.1	1,251	16.7	1,461	14.8	975	△67.4
2025年3月期	55,309	6.5	1,072	22.4	1,273	24.6	2,992	269.2

(注) 包括利益 2026年3月期 1,129百万円 (△19.6%) 2025年3月期 1,404百万円 (166.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	49.85	—	6.5	4.4	2.1
2025年3月期	152.89	—	21.5	4.1	1.9

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	33,720	15,331	45.5	783.22
2025年3月期	32,759	14,553	44.4	743.50

(参考) 自己資本 2026年3月期 15,331百万円 2025年3月期 14,553百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	285	△73	△196	8,598
2025年3月期	2,047	890	△383	8,578

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00	352	11.8	2.5
2026年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00	352	36.1	2.4
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00		42.5	

2025年3月期 期末配当金の内訳 普通配当金 10円00銭 特別配当金 8円00銭

2026年3月期 期末配当金の内訳 普通配当金 18円00銭

2027年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当金 18円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	1.4	980	△21.7	1,200	△17.9	830	△14.9	42.40

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年3月期	20,102,000株	2025年3月期	20,102,000株
2026年3月期	527,253株	2025年3月期	527,174株
2026年3月期	19,574,813株	2025年3月期	19,574,827株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	57,051	6.3	1,030	60.0	1,272	42.9	870	△67.7
2025年3月期	53,659	6.7	644	7.3	890	14.3	2,691	343.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	44.46	—
2025年3月期	137.52	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	33,247	14,069	42.3	718.78
2025年3月期	32,126	13,442	41.8	686.74

(参考) 自己資本 2026年3月期 14,069百万円 2025年3月期 13,442百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方で、米国の通商政策の影響や中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりに伴う原材料価格およびエネルギー価格の高止まりが物価上昇をもたらす中、消費者の購買力は低下し、また金融資本市場の変動等の影響もあり、景気の先行きについては依然として不透明な状況が継続しております。

当社グループが事業を展開するスポーツ用品業界においては、少子化の進行や気候変動に伴う季節性の変化に加え、物流コストおよび人件費の上昇など、不確実な要因が多く、経営環境は引き続き不透明な状況が続いております。

一方で、健康志向の高まりやスポーツへの関心の継続、ライフスタイルの多様化を背景に、ランニングやアウトドアをはじめとする幅広い分野において安定した購買意欲が維持されており、加えてスポーツブランドの日常使いとしての需要も拡大しております。これらを背景に、スポーツ用品市場につきましては、中長期的に成長が期待される状況にあります。

このような状況のなか当社グループは、中期経営スローガンとして「一致結束をより強固にし、スポーツ総合商社として、周りの信頼と信用を高めながら、会社も個人もより高みを目指していく」を掲げ、基本方針として「長期的に利益を稼ぎ続ける仕組みと風土づくり」、「売上拡大のための成長戦略」、「経営効率化のための構造改革」、「経営基盤（人材・物流・DX）の強化」、「ESG経営の推進」を定め、グループ各社一丸となって取り組み、企業価値向上に努めております。

当連結会計年度におきましては、引き続きスポーツ市場及びライフスタイル市場において、提案型営業による取引先との関係強化や主力ブランドの取扱い拡大などに取り組みました。また適正な在庫流動管理をより徹底するとともに、省人化を目的とした設備投資を進めるなど物流の効率化にも取り組みました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、58,655百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は1,251百万円（前年同期比16.7%増）、経常利益は1,461百万円（前年同期比14.8%増）となり、売上高、経常利益で過去最高を更新しました。なお、投資有価証券売却益の減少により、親会社株主に帰属する当期純利益は975百万円（前年同期比67.4%減）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

スポーツ市場においては、健康志向の高まりや観戦型・参加型イベントの多様化を背景に各カテゴリーとも高い需要が維持されました。野球・ソフトボール用品「ゼットベースボール」では、グラブ、バットに加えアパレル関連も堅調に推移いたしました。テニス・バドミントン用品では、国内競技需要や高単価ラケットなど高価格帯商品に対する需要の高まりがありました。サッカー用品では、アパレル、フットウェアを中心に引き続き好調に推移し、その他用品においては陸上スパイク、ランニングシューズのほか、卓球などがインバウンド需要の影響もあり好調でした。ライフスタイル市場においては、高機能シューズが引き続き好調だったほか、アウトドア用品におけるアパレル関連も堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は57,106百万円(前期比6.3%増)となりました

(製造部門)

野球・ソフトボール用品の「ゼットベースボール」においては新基準硬式金属製バット、ホワイトスパイクが引き続き高評価を得ており、オーダーグラブはプロスタッフの活躍などにより好調に推移しました。バスケットボール用品の「コンパス」においては、レフリーウェアなどが引き続き好調でした。一方で、製造部門の経営環境は、原材料価格の高騰や対米ドル円安状態が継続したことによって、製造原価は高止まりしており厳しい状況が続いております。

この結果、売上高は330百万円（前期比7.9%増）となりました。

(小売部門)

専門性の高い品揃えと接客の質の改善に取り組みましたが、一部店舗の統廃合を行ったほか、秋冬シーズン序盤の暖冬の影響により高価格帯商品の販売がやや停滞しました。

この結果、売上高は474百万円（前期比10.8%減）となりました。

(物流部門)

外部受託業務の取扱数量の減少により微減となりました。

この結果、売上高は744百万円（前期比3.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は33,720百万円となり、前連結会計年度末に比べ961百万円増加いたしました。

流動資産は27,119百万円となり、前連結会計年度末に比べ771百万円増加いたしました。これは主に売掛金が581百万円、電子記録債権が305百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は6,600百万円となり、前連結会計年度末に比べ189百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が271百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計18,389百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円増加いたしました。

流動負債は16,608百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が582百万円、その他が130百万円増加したものの、未払法人税等が911百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は1,780百万円となり、前連結会計年度末に比べ206百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が148百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は15,331百万円となり、前連結会計年度末に比べ777百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が623百万円、その他有価証券評価差額金が108百万円増加したこと等によるものであります。

この結果自己資本比率は45.5%となり、前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動により285百万円獲得し、投資活動により73百万円使用し、財務活動により196百万円使用した結果、当連結会計年度末における残高は8,598百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円増加いたしました。

営業活動の結果、獲得した資金は285百万円となりました。これは主に、売上債権の増加が662百万円あったものの、税金等調整前当期純利益1,461百万円及び仕入債務の増加590百万円があったこと等によるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は73百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出69百万円、無形固定資産の取得による支出34百万円があったこと等によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は196百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入300百万円があったものの、長期借入金の返済による支出98百万円、配当金の支払額351百万円があったことと等によるものであります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	44.2	44.8	45.0	44.4	45.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	19.3	19.5	20.6	24.8	25.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	3.6	0.9	1.9	0.6	5.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	176.3	875.0	446.3	618.4	43.2

(注) 自己資本比率

: 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率

: 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率

: 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ

: 営業キャッシュ・フロー / 利払い

*各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

*株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

*営業キャッシュ・フローは、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象にしております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国際情勢の動向に起因する市況変動や原材料価格の高騰、為替相場の変動に加え、人件費及び物流コストの上昇等の複合的な要因により、先行きの不透明感が一層強まるものと認識しております。

このような大変厳しい環境の中、当社グループは中期経営計画に基づいて、高効率な経営を実現するため、引き続き適正な在庫流動管理の徹底や物流効率化に取り組むとともに、社員一人ひとりの生産性向上を図り、経営の安定性確保と収益基盤の維持拡大に努めてまいります。

なお、次期の業績見通しは下記のとおりであります。

翌連結会計年度（2026年3月期）の連結業績の見通しにつきましては、売上高59,500百万円（前期比1.4%増）、営業利益980百万円（前期比21.7%減）、経常利益1,200百万円（前期比17.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益830百万円（前期比14.9%減）を予想しております。

なお、上記の業績は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準につきましては日本基準を適用しております。I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,078	9,099
受取手形	405	181
売掛金	9,979	10,560
電子記録債権	1,875	2,181
商品及び製品	4,052	4,236
仕掛品	108	87
原材料及び貯蔵品	260	194
返品資産	319	344
その他	406	320
貸倒引当金	△139	△86
流動資産合計	26,348	27,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,481	2,503
減価償却累計額	△1,920	△1,937
建物及び構築物 (純額)	561	565
土地	1,228	1,228
その他	984	955
減価償却累計額	△689	△706
その他 (純額)	295	248
有形固定資産合計	2,084	2,042
無形固定資産		
その他	75	78
無形固定資産合計	75	78
投資その他の資産		
投資有価証券	3,622	3,893
長期貸付金	11	10
敷金	269	245
その他	389	400
貸倒引当金	△42	△71
投資その他の資産合計	4,250	4,479
固定資産合計	6,410	6,600
資産合計	32,759	33,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,346	7,929
電子記録債務	6,387	6,395
1年内返済予定の長期借入金	47	101
未払法人税等	1,181	269
未払消費税等	81	135
賞与引当金	235	268
返金負債	376	405
その他	974	1,104
流動負債合計	16,631	16,608
固定負債		
長期借入金	—	148
繰延税金負債	78	176
退職給付に係る負債	314	294
長期未払金	11	11
その他	1,169	1,149
固定負債合計	1,573	1,780
負債合計	18,205	18,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	9,620	10,243
自己株式	△74	△74
株主資本合計	13,519	14,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	940	1,048
繰延ヘッジ損益	29	57
為替換算調整勘定	52	57
退職給付に係る調整累計額	11	25
その他の包括利益累計額合計	1,033	1,188
純資産合計	14,553	15,331
負債純資産合計	32,759	33,720

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	55,309	58,655
売上原価	45,726	48,465
売上総利益	9,582	10,190
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	529	568
運賃及び荷造費	991	1,082
賃借料	245	229
役員報酬及び給料手当	3,326	3,388
貸倒引当金繰入額	△48	△23
賞与引当金繰入額	221	252
減価償却費	125	134
その他	3,118	3,305
販売費及び一般管理費合計	8,510	8,938
営業利益	1,072	1,251
営業外収益		
受取利息	4	42
受取配当金	75	49
受取賃貸料	87	87
業務受託料	8	10
貸倒引当金戻入額	16	0
その他	14	27
営業外収益合計	208	217
営業外費用		
支払利息	3	6
その他	4	0
営業外費用合計	7	7
経常利益	1,273	1,461
特別利益		
投資有価証券売却益	2,952	-
特別利益合計	2,952	-
税金等調整前当期純利益	4,225	1,461
法人税、住民税及び事業税	1,274	451
法人税等調整額	△42	34
法人税等合計	1,232	486
当期純利益	2,992	975
親会社株主に帰属する当期純利益	2,992	975

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	2,992	975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,624	108
繰延ヘッジ損益	4	27
為替換算調整勘定	11	4
退職給付に係る調整額	20	13
その他の包括利益合計	△1,588	154
包括利益	1,404	1,129
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,404	1,129

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,005	2,968	6,784	△74	10,683
当期変動額					
剰余金の配当			△156		△156
親会社株主に帰属する当期純利益			2,992		2,992
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	2,836	△0	2,836
当期末残高	1,005	2,968	9,620	△74	13,519

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,564	25	41	△9	2,622	13,305
当期変動額						
剰余金の配当						△156
親会社株主に帰属する当期純利益						2,992
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△1,624	4	11	20	△1,588	△1,588
当期変動額合計	△1,624	4	11	20	△1,588	1,247
当期末残高	940	29	52	11	1,033	14,553

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,005	2,968	9,620	△74	13,519
当期変動額					
剰余金の配当			△352		△352
親会社株主に帰属する当期純利益			975		975
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	623	△0	623
当期末残高	1,005	2,968	10,243	△74	14,143

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	940	29	52	11	1,033	14,553
当期変動額						
剰余金の配当						△352
親会社株主に帰属する当期純利益						975
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	108	27	4	13	154	154
当期変動額合計	108	27	4	13	154	777
当期末残高	1,048	57	57	25	1,188	15,331

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,225	1,461
減価償却費	131	142
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,952	△9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△93	△24
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	32
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1	△20
受取利息及び受取配当金	△80	△91
支払利息	3	6
売上債権の増減額 (△は増加)	△571	△662
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△140	△97
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,753	590
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△72	53
その他	33	152
小計	2,244	1,533
利息及び配当金の受取額	80	91
利息の支払額	△3	△6
法人税等の支払額	△274	△1,332
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,047	285
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42	△69
無形固定資産の取得による支出	△11	△34
投資有価証券の取得による支出	△2,030	△104
投資有価証券の売却による収入	3,154	110
貸付金の回収による収入	1	1
定期預金の預入による支出	△500	△501
定期預金の払戻による収入	300	500
その他	19	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	890	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△194	△98
配当金の支払額	△156	△351
その他	△33	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△383	△196
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,565	19
現金及び現金同等物の期首残高	6,012	8,578
現金及び現金同等物の期末残高	8,578	8,598

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
1株当たり純資産額	743.50円	1株当たり純資産額	783.22円
1株当たり当期純利益	152.89円	1株当たり当期純利益	49.85円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

区分	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,992	975
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	2,992	975
普通株式の期中平均株式数 (千株)	19,574	19,574

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

該当事項はありません。